



岡山さんぽメールマガジン 第118号は11月2日(木)



1. 相談員便り

『今シーズンのインフルエンザ、注目点』

(勝田吉彰相談員)

2. 研修会のご案内

◆石綿関連疾患診断技術研修

◆《新企画》

“職場で実践”シリーズ～メンタルヘルス&コミュニケーション～

◆平成29年度研修会(11月、12月、1月)

◆産業医研修会

3. 編集後記

1. 相談員便り(勝田吉彰 相談員)

『今シーズンのインフルエンザ、注目点』

今年もインフルエンザのシーズン入りし、国立感染研究所のインフルエンザ流行レベルマップの配信(週刊)も始まっています。岡山県の、保健所管内ごとの状況がネットで見ることが出来ますから、ぜひ、毎週チェックして職場のみなさんに伝えてください。

インフルエンザ流行レベルマップ

https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/Hasseidoko/Levelmap/flu/new_jmap.html

今回は、今シーズンのインフルエンザ状況を占う上で、直近の諸外国で発生した事象をおさらい紹介します。

1. オージーインフルエンザ

オージービーフの間違いではありません。オージーインフルエンザ。南半球では、日本の夏期が冬のインフルエンザシーズンになります。オーストラリアではこの6～9月がシーズンでした。その間、例年を上回るペースで H3N2 型の大流行に見舞われ、重症例の入院にも支障をきた

す状況になりました。そのウイルスが入ってくる！とばかりに、オーストラリアと交通の多い英連邦の国々がパニック状況になり、マスコミが勝手に命名して大見出しになったのが「オーギーインフルエンザ」なる珍病名というわけです。英国のメディアでは、この大見出しで、ワクチン接種や咳エチケットなど必要な情報を伝えています。

日本は英連邦の国々と比較すればオーストラリアとの交通は少な目ですが、「オーギーインフルエンザ」、職場で関心をもってもらえる話題に良いかもしれません。なお、H3N2 型自体は通常の季節性インフルエンザでワクチンでカバーされています。

2. アジアで猛威をふるった H1N1 型

今年は南西アジア・東南アジアでもインフルエンザ流行が現地マスコミをにぎわせました。インド・パキスタンでの H1N1 型の大流行、そして、ミャンマーでも H1N1 型が新型豚インフルエンザ襲来！と報道され社会不安が起きました。もちろん、H1N1 型は季節性インフルエンザのひとつとしてワクチンでもカバーされていて新型インフルエンザでもなんでもありません。しかし、我々が教訓として得られるのは、「オーギーインフルエンザ」ともども、今年は何が流行ってもおかしくないという点。一般的に、H3N2 型は高齢者に合併症を起こしやすく、H1N1 は若年層で重症化するケースが比較的多いと言われるものの、我々産業保健の現場ではどちらも等しく厄介な存在です。手洗い・咳エチケット・ワクチン接種・十分な睡眠をとって体調を整えることなど、繰り返して話題にしてゆきましょう。

なお、職場で外国人労働者が在籍しておられる事業所では、咳エチケットのポスター、多言語でダウンロードできるサイトを利用すると良いでしょう。米国 CDC のサイトです。中国語・タガログ語・スペイン語・ポルトガル語などなど、適宜ダウンロードして掲示すると有用です。 <https://www.cdc.gov/flu/protect/covercough.htm>

3. 新型インフルエンザ(なるかも)の話題

「次」の新型インフルエンザになる可能性が指摘されているのが鳥インフルエンザ H7N9 型。2013 年から中国 上海・浙江省・江蘇省から発生が報告され始め、現在は中国全土に拡大しています。これがヒト感染する数が 2013⇒14⇒15 年と減少傾向をたどってきたのですが、2016 年になって一転、大幅増になってしまい、WHO 以下世界の保健当局を大いに心配させています。

現状はヒトからヒトへ感染する数はごく僅少で、あくまでも鳥の病気ですが、ここでショッキングな研究報告が東大 (& ウィスコンシン大) の河岡教授らのグループから発表されました。鳥だけでなく、フェレットにも感染、空間を共有していれば直接触れなくとも感染しうることが証明されました。フェレットはヒトと条件が類似しており、インフルエンザの実験では良く使われます。つまり、ヒトと条件がよく似た動物に、効率よく感染することがわかり、「H7N9 はこれ以上の遺伝子変異を起こさなくてもパンデミックを起しうる可能性がある」とコメントされています(かつて新型インフルエンザ化するのはと騒がれた H5N1 型は、ヒトに効率的に感染するにはなお複数の遺伝子変異を要し、現状ではパンデミックの可能性は高くありません。つまり、H7N9 型は H5N1 型よりも新型インフルエンザ化する可能性が高いとされたわけです)

その時期は神のみぞ知るですが、新型インフルエンザの騒動が近年突然勃発する可能性は、頭の片隅に置いておくのが良いかもしれません。

◆勝田先生の研修会◆

『今、話題の感染症について～インフルエンザ対策を含め～』

日 時:12 月 18 日(月)9:30～11:00

内容:鳥インフルエンザ、麻疹、MERS…等。毎年の様にメディアをにぎわす「国境を超える感染症」。年末を控え、その年に話題になった疾病を取り上げ、翌年の職場での備えにつなげます。

詳細はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke-z.html>

2. 研修会のご案内

『石綿関連疾患診断技術研修』

日時:平成 30 年 1/18(木)15:00～17:00

会場:ピュアリティまきび(岡山市北区下石井 2-6-41)

対象:産業医・医師・石綿関連疾患に関わる方

内容:石綿関連疾患について、石綿に関する一般的知識、石綿ばく露歴の把握方法、石綿関連疾患の診断及び労災補償制度等についての研修を行います。産業医の方は、生涯研修専門 2 単位を取得できます。

◆詳細、申込はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke-s.html>

《新企画》

“職場で実践”シリーズ～メンタルヘルス&コミュニケーション～

実際に事業場に赴いて支援や教育を担当しているメンタルヘルス対策促進員(産業カウンセラー)が、実践的な内容で実施する新しい研修会です。事例検討やグループワークも交え、現場ですぐに役立つ研修会を目指しておりますので、ぜひご参加ください。

「コミュニケーション講座」

「早期退職をする理由を理解して、長期に働いてもらえる職場づくりをしよう」

「職場のコミュニケーション力アップにアサーションを！」

「大人の「発達障害」の理解と対応」

※各回の内容は独立していますので、興味のある回を個別に受講できます。

◆詳細、申込はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke-z.html#01-ke-z-mandc>

《平成 29 年度研修会(11 月、12 月、1 月)》

会場:ピュアリティまきび(岡山市北区下石井 2-6-41)

11/2(木)14:00～16:00(カウンセリング研修4)

『カウンセリングの事例検討について』

11/16(木)14:00～16:00※満席

『高齢者の健康管理について』(専門 2 単位)

11/17(金)14:00～15:30

『生涯美味しいアルコールを飲もう!』

11/29(水)15:00～16:30

『職場のメンタルヘルス<裁判事例(2)>』(実地 1.5 単位)

12/6(水)14:30～16:00

『精神疾患による休職からの復職支援について』(専門 1.5 単位)

12/7(木)14:00～15:30

『騒音性難聴について』(専門 1.5 単位)

12/13(水)14:30～16:00※満席

『健康診断後の事後措置について』(専門 1.5 単位)

12/18(月)9:30～11:00

『今、話題の感染症について～インフルエンザ対策を含め～』

1/19(金)14:00～15:30

『保健指導の基本について』対象:産業看護職の方

1/24(水)15:00～16:30 産業医以外の方も受講できます

『産業医のためのメンタルヘルス対策～職場復帰に向けての実例編～』(専門 1.5 単位)

◆詳細、申込はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke-z.html>

会場:岡山大学医学部基礎研究棟 (岡山市北区鹿田町 2 丁目 5-1)

11/7(火)13:00～14:30

『メンタルヘルス対応の手順と様式1』

12/5(火)13:00～14:30

『メンタルヘルス対応の手順と様式2』

1/30(火)13:00～14:30

『ストレスチェック制度運用のための手順と様式』

◆詳細、申込はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke-z.html>

＜産業医研修会＞

産業保健に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。

産業医の方は、生涯研修の単位を取得できます。

主催:NPO法人岡山健康医学研究会

受講料等の詳細につきましては下記のホームページでご確認ください。

<http://d.hatena.ne.jp/okayama-eisei/>

◆岡山労災病院(岡山市南区築港緑町 1-10-25)

・11月9日(木)19:00～21:00

『ストレスチェック事後措置・手順と様式についての検討』

◆詳細、申込はこちら

<http://d.hatena.ne.jp/okayama-eisei/>

3. 編集後記

労働安全衛生に携わる人々が一堂に会し、識者による講演・シンポジウムや研究成果発表・事例報告を通して「災害防止と働く人の健康づくり」のための情報交換や交流を図る「第76回全国産業安全衛生大会」が11月8日(水)～10日(金)に神戸市で開催されます。11月9日(木)9:50～神戸国際会議場国際会議室にて岡山産業保健総合支援センターの平成27年度産業保健調査研究「電動ファン付呼吸用保護具着用による負荷の軽減の調査研究」の成果を横溝相談員が発表いたします。当日参加される方は是非会場に行って、岡山産業保健総合支援センターの成果発表をお聞きいただければ幸いです。

...

ホームページにて、センター活動行事を紹介しています。

<http://www.okayamas.johas.go.jp/08-ce.html>

次回の第119号は12月1日(金)に配信予定です。